

輸入F1トウモロコシの優良品種

福島県畜産試験場 草地飼料部

平成10年度 草地・飼料作関係試験成績概要

分類コード 08-02-01000000

部門名 飼料作物－飼料作物－品種

I 新技術の解説

1 要旨

トウモロコシの「優良品種」として新たに2品種が選定された。

選定基準は「福島県優良品種(輸入F1サイレージ用トウモロコシ)総合評価基準」で80点以上かつDランクがないことを条件とした。

ただし「FFR747」については、総合成績では80点に満たなかったが、理由として、表1のとおり平成10年度の台風被害による低い評点の影響である。「他の2年間および現地ほ場では成績が良かった」、「Dランクがない」、「総合成績で標準品種並みの成績が得られた」ことから、基準は満たしていると判断された。

(1) 優良品種の特性

1)「AZURIS」: 相対熟度117日の早中生タイプで高標高地での栽培も可能。稈長はやや高いが着雌穂高比率は低い。安定多収。高標高地では8,000本/10aとする。

2)「FFR747」: 相対熟度125日の中生の晩タイプ稈長はかなり低い、安定多収。

2 期待される効果

(1) 飼料作物の安定生産が可能となり、大家畜生産の安定が期待される。

(2) 耐倒伏性、耐病性が強く、乾物収量等の安定多収が期待される。

3 適用範囲

(1)「AZURIS」: 平坦部のトウモロコシ1期作地帯および標高500mまでの高標高地

(2)「FFR747」: 平坦部のトウモロコシ1期作地帯

4 普及上の留意点

(1) 適期播種を心がけ、適栽植密度(本/10a)を守って品種の特性を活かし、早刈りや刈遅れのないようにする。ただし、AZURISの高標高地での栽植密度は極早生品種と同様の8,000本/10aとする。

II 具体的データ等

表1 トウモロコシ総合成績(1996～1998)

品種名 (系統名)	早 晩 生	抽 出 期		収 穫 日 (月日)	生 育 日 数	稈 長 (cm)	着高 雌比 穂率 (%)	総 生 重 (kg/ 10a)	総 乾 重 (kg/ 10a)	T D N (kg/ 10a)	乾 雌割 穂合 (%)	評 点
		雄 穂	絹 糸									
N3624(標)	早生	7/25	7/24	9/14	134	250	45	4384	1679	1183	60	
TX105	早生	7/24	7/28	9/17	133	287	40	4917	1644	1149	53	69
AZURIS	早生	7/24	7/27	9/17	133	262	41	4933	1783	1257	55	83
3525	早生	7/28	7/28	9/21	137	274	49	4967	1791	1257	67	77
好効ネ(標)	中晩	8/ 1	8/ 3	9/28	145	296	50	5536	1807	1259	53	
FFR747	中晩	7/31	8/ 3	9/29	145	245	48	5281	1873	1249	50	73
WR9138	中晩	8/22	8/29	10/ 5	158	333	64	9528	2446	1474	16	65
FFR747年度別成績												
平成8年		7/31	8/ 2	9/27	143	257	46	6950	2067	1400	45	86
平成9年		7/31	8/ 2	10/ 1	147	251	50	4817	1945	1376	57	89
平成10年		8/ 3	8/ 5	9/28	145	226	49	4075	1607	1106	49	63
平成9年大玉村*		7/28	8/ 3	9/18	130	255	49	7767	2025	1394	49	95

*平成9年大玉村玉ノ井の現地ほ場データ(協力:安達地域農業改良普及センター)

表2 トウモロコシ優良品種の適用地帯

品種・ 系統名	* 早 晩 生	能力を発揮する地帯	適栽植密度 (本/10a)	備 考 (特性、流通名)
AZURIS	早 中 生	平坦部のトウモロコシ1期作地帯 RM=117 標高500mまでの高標高地	7,000～7,500 8,000	安定多収 全農アイト1001
FFR747	中生の晩	平坦部のトウモロコシ1期作地帯 RM=125	6,000～6,500	稈長低いが安定多収 全農アイト101-F

*福島県における早晩生の分類

Ⅲ その他

1 主要な参考文献・資料:平成10年度草地・飼料作関係試験成績概要